

国	内	県	内
5日	豊洲市場 初競りマグロ2億700万円 過去2番目の高値 東京都江東区の豊洲市場で今年最初の取引となる「初競り」が開かれ、青森県大間産のクロマグロがこの日の最高値の2億700万円で落札。2019年の3億3,360万円に次ぐ過去2番目の高値。	7日	年末年始の航空、高速道利用 共に前年越え 航空と高速各社によると、年末年始(昨年12月27日～1月5日)の利用実績は共に前年を上回った。最大9連休という日並びの良さと帰省や旅行需要の高まりが要因。
7日	2024年11月の税込、11%増 法人税が堅調 財務省は、2024年11月の国の一般会計税収が前年同月比で11%増の10兆4,308億円だったと発表。企業の好業績で、法人税が21.7%増の5兆2,621億円と堅調だった。	8日	九州中央自動車道「わらべのさとトンネル」貫通 九州中央自動車道の延伸工事で建設中だった五ヶ瀬高千穂道路「わらべのさとトンネル(仮称)」が貫通。これにより延伸工事の進捗に弾みが付き、早期全線開通に期待。
9日	介護事業者の倒産件数、24年は172件 過去最多を更新 東京商工リサーチによると、介護事業者の2024年の倒産が全国で172件となり、調査を始めた2000年以降で最多。物価高によるコストの増加や人手不足が要因で、小規模事業者が多かった。	9日	子牛初競り、前年比5万円高の平均57万円 宮崎市のJA宮崎中央家畜市場で、県内7市場のトップを切って子牛の初競りが開始。平均価格は、前年初日より5万3,601円高い57万7,119円だったが、業界を取り巻く環境は予断を許さず。
14日	2024年11月旅行収支、27カ月連続黒字 2024年11月の国際収支統計(速報)によると、訪日外国人(インバウンド)の消費額から日本人が海外で使った金額を引いた旅行収支は4,869億円の黒字。前年同月比31.2%増となり、27カ月連続の黒字。	9日	宮崎市 ふるさと納税寄付額 初の100億円超え 宮崎市は、2024年度のふるさと納税の寄付額が、昨年12月末時点で過去最高の約124億4,000万円となり、初めて100億円の大台を超えたと公表。
15日	2024年訪日外国人旅行消費額(速報) 8兆円で過去最高 観光庁によると、2024年の訪日外国人の宿泊や買い物などの消費額(速報値)が8兆1,395億円、客数は3,686万9,900人でともに過去最高となった。	10日	2024年県内倒産 大幅増49件 過去10年で最多 東京商工リサーチ宮崎支店によると、2024年の県内企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、過去10年間で最多の49件(前年比53.1%増)、負債総額は71億9,700万円(149.3%増)だった。
16日	ガソリン補助金再縮小 ガソリン価格180円→185円に ガソリン価格の高騰を抑えるための国による補助金が16日から再び縮小。現在1リットル180円台程度の小売価格(全国平均)が185円程度まで値上がり。	10日	県が春季スポーツキャンプの日程発表 県は、県内の春季プロスポーツキャンプの日程(10日時点)を発表。プロ野球は福岡ソフトバンクホークスや巨人など1軍5球団が来県。サッカーJリーグはJ1～J3の計16チームが予定。
24日	日銀、追加利上げ0.5%に 日銀は金融政策決定会合で、政策金利とする短期金利(無担保コール翌日物レート)を0.25%から0.5%への引き上げを決定。リーマン・ショック直後の2008年10月以来、約17年ぶりの水準。	13日	県内震度5弱の地震発生 宮崎市や高鍋、新富町で震度5弱の地震があり、九州など広範囲で揺れを観測。本県では住宅の一部損壊や公共施設の破損、県道で落石を確認。またJRが運転を見合わせるなど影響は各地に広がった。
31日	人口移動報告 東京集中に拍車 総務省が公表した住民基本台帳に基づく2024年の人口移動報告によると、東京への流入数が拡大し、25道府県で流出が加速。転入超過は東京都、神奈川県、埼玉県など7道府県。	15日	新幹線、県内初のシンポジウム開催 「みやざきの新幹線を考えるシンポジウム」が宮崎市で開催され河野知事らがパネラーとして登壇。約150人が来場し、新幹線の必要性や機運醸成に向けた取組みのあり方について考えを深めた。